

行事報告

日経ウーマノミクス・フォーラム 2018 シンポジウム

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2018年8月31日(金)日経ウーマノミクス・フォーラム 2018 シンポジウム「ダイバーシティ研究環境整備と女性研究者の未来」が開催され、大学・企業による高校生向け「理系の学び」セミナーにおいて大阪大学の魅力を伝えるべく、「オモロい阪大！？～阪大リケジョのホンネ～」と題して、佐野萌さん(接合設計学)、森下麻衣さん(スマートグリーンプロセス学)、梅田准教授が登壇しました。

まず、梅田准教授が大阪大学と接合科学研究所の紹介を行いました。次に、森下さんが「私のリケジョ生活」をテーマに、大学受験生活を乗り切った経緯、約200万人の観客を動員する日本最大級の踊りの祭典の「キャンパスバトル」で3連覇に輝いたお祭りダンスサークル「祭楽人」での活動と勉強の両立について発表をしました。最後に、佐野さんが「予想外な大学院生活！？阪大リケジョのリアルとホンネ」と題して、大学院での研究活動や広域アジアものづくり技術・人材高度化拠点形成事業においてインドネシアでのカップリング・インターンシップ(CIS)活動に参加した経緯と得られた経験について発表しました。また高校生が進路決定時に悩む、理工系に進学すると女子学生が少ない点にも触れて、研究室ではあまり性差を意識することがなく過ごせること・専攻内では学年に関係なく結束が強くなることなど、実体験を基に説明をしました。発表後にも女子高校生から直接相談を受ける一幕もありました。さらに、シンポジウム後の交流会において、佐野さんが大阪大学を代表してスピーチを行い、女性研究者としての意気込みを話し、“ドボジョ”として多くの大学関係者の注目を集めました。

